



ビエント高崎 新聞

令和2年8月号

発行所 高崎卸商社街協同組合
〒370-0006 高崎市問屋町2-7
TEL 027-361-8243 FAX 027-361-4828

http://www.viento-takasaki.or.jp/
e-mail:viento@viento-takasaki.or.jp

家賃支援給付金受付開始

組合の共同駐車場や共同倉庫も対象に **速報**



組合の共同駐車場や共同倉庫も家賃支援給付金の対象に

コロナウイルス感染症による5月の緊急事態宣言の延長等により、売上の急減に直面する事業者の事業継続を下支えするため、国が

長引く新型コロナウイルスの影響を受けている組合員の厳しい現況に鑑み、理事会において組合員の支援策を検討した。この結果、組合員に一律10万円の見舞金を支給することを決定した。今後もコロナ禍の情勢を注視しながら、組合のできる支援策を継続して検討していく。

組合では、新型コロナウイルスの影響を受けている組合員の厳しい現況に鑑み、理事会において組合員の支援策を検討した。この結果、組合員に一律10万円の見舞金を支給することを決定した。今後もコロナ禍の情勢を注視しながら、組合のできる支援策を継続して検討していく。

支援策を、時宜に応じてメールで紹介するなど情報発信に努めてきた。

また、コロナ特例措置の雇用調整助成金の申請のための個別相談会を開催する等の対策も行ってきた。

こうした一方、未曾有の事態に処すべく、組合として成し得る支援の在り方を、理事会を中心に種々検討を重ねてきた。

この結果、組合の理念である相互扶助の精神や共同事業を通じて直接奉仕、配当の制限等の原則を考慮し、福利厚生事業の一環として少額ではあるが組合員一律10万円の見舞金を支出することを決定した。詳細については、既に組合員各社に文書で通知した。

今後も、コロナ禍の状況を見ながら、各種共同事業を通じ、組合のできる支援策を検討していく。

コロナ禍に対応した

組合員支援策を決定

組合員に緊急見舞金10万円を一律支給

新役員と組合員・賛助会員懇親会開催

組合員・賛助会員等62人で3密を避けて実施



瀧澤英一副理事長の音頭で乾杯

5月27日（水）開催の組合の第57回通常総会での役員改選及びその後の理事会において行われた役職理事選任を受けて、7月21日（火）午後6時よりホテルメトロポリタン高崎において、新役員と組合員・賛助会員懇親会が開催された。当初、同懇親会は、総会・

理事会開催当日の夜に予定されていたが、コロナウイルス感染拡大防止に配慮し延期されていたもの。

懇親会は、総勢62人の出席者により、3密を避けた会場配置で行われ、新役員紹介と杉浦幸男新理事長の挨拶の後、和やかに歓談が進められた。

環境整備小委員会開催

団地内の美化・防犯・交通安全に協力を呼びかけ

組合員対応委員会の環境整備小委員会（辻有宏委員長）は、6月30日（火）に役員改選後初の委員会を開催した。

同委員会では、主に団地内の美化・防犯・交通安全等について協議が行われた。団地内の美化については、この時期、敷地内や歩道の雑草の繁茂が目立ち始めており、清掃の徹底が呼び掛けられた。従来から、毎月第2水曜日を清掃デーとしているが、自社周辺の美化を改めて周知する。

防犯については、最近、事務所荒らしや車両盗難の被害が出ていることもあり、各社への防犯体制強化を促すとともに、防犯パトロールの実施を予定する。

交通安全については、路上駐車や自らの他、団地内で事故の多発する交差点等の危険箇所対策を高崎警察署に陳情していくこととなった。

雑草が伸び始めた歩道

組合員 短信

◎代表者変更

・(株)糸庄

・(新) 松本修平

・(新) 松本久美子

・(合同) 小松屋銅鉄店

・(旧) 柴山紀子

・(新) 小林智子

・(有)アーカインド

・(旧) 吉濱達三

・(新) 杉浦幸男

◎営業所長変更

・旭洋(株)北関東営業所

・(旧) 古川貴史

・(新) 鳥井真哉

・津根(株)シンツール(株)

・高崎営業所

・(旧) 黒澤弘美

・(新) 内山勇司

◎賛助会員脱会

・中央労働金庫高崎支店

6・7月事務局メモ

＜6月＞

1日 正副理事長会議

10日 6月清掃デー

15日 正副理事長会議

23日 6月定例理事会

30日 どっと楽市(委)

＜7月＞

6日 正副理事長会議

8日 7月清掃デー

20日 正副理事長会議

7月定例理事会

21日 新役員と組合員・賛助会員懇親会

ベスト・アクション表彰受賞

地域経済振興に貢献

上州どっと楽市実行委員会が



会議所で表彰を受ける平井昌一副理事長

組合では一般市民を対象とした大販売会「上州どっと楽市」を、JR高崎問屋町駅開業に合わせた平成17年から、地域活性化を目的に、毎年春と秋の2回開催に親しまれている。

今年度はコロナの影響で中止となったが、毎回4万人規模の来場者で賑わい、高崎問屋街を中心に広く地域恒例のイベントとして市民に親しまれている。

今回、こうした実績の積み重ねが評価され、関東商工会議所連合会より、上州どっと楽市実行委員会が「ベスト・アクション」として表彰された。

6月26日（金）の高崎商商工会議所の議員総会に先立ち表彰式が行われ、昨年度まで実行委員長を務めた平井昌一副理事長に表彰状が授与された。

秋の楽市もやむなく中止

上記の通り、ベスト・アクション表彰の栄に浴した上州どっと楽市だが、依然としてコロナ禍の終息が見通せず、春に続いて秋の開催もやむなく中止となった。

実行委員会では、10月24日（土）～25日（日）に秋の開催を目指し、諸準備を進めてきた。

委員会のメンバーはもちろん、毎回開催を心待ちにしてくれる市民の皆さんも数多い。春に続いて秋も中止することは断腸の思いとも言える。

数万人の不特定多数の来場者の安全に替えることはできない。

次回は、例年通り4月頃の開催を予定しているので、上州どっと楽市の復活に乞うご期待。



ビエント高崎のご利用を

施設のご確認はスマホでも

ビエント高崎展示ホールの愛称は「ビッグキューブ」です。本館会議室・エクセルホール同様、是非ご利用を!

申込み問合せ先 ☎027-361-8243(代)

http://www.viento-takasaki.or.jp/

e-mail:viento@viento-takasaki.or.jp

